

(様式2(1))

事業所名 グループホームあったか家族

## 目標達成計画

作成日: 令和 4 年 9 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍により、地域活動が減速傾向にある。	ウイズコロナの時代に即した地域への働きかけができる。	・屋上で行う春と秋のカフェのお知らせを回覧や掲示板で地域に周知し、参加していただく。 ・コロナ禍で中止している交流室の無料貸し出しを再開する。	2ヶ月
2	4	運営推進会議の構成員を、コロナ禍では、招集できていなかった。	ウイズコロナの時代に向かい、徐々に既定の会議の状態に戻る。	次回会議には地域包括と民生委員に参加依頼し、次々回には加えて家族の方、その次の回には知見を有する方と、順次声掛けを増やしていく。	6ヶ月
3	11	入居者に喜んでいただけたこと等をニヤリ・ホットとして挙げ、他の職員にも周知するようにしているが、ヒヤリ・ハットと比べても挙がってくる件数が非常に少ない。	ニヤリ・ホットの件数が増え、“良かった探し”が定着する。	夕食前に当日の日勤職員で話し合い、“良かった探し”を実践していく。	3ヶ月
4	35	水害対策としての避難訓練は実施しているが、夜勤者が一人でも応援がくるまでの対応ができる行動計画が話し合いのみで頓挫している。	文書化した行動計画のもと、避難訓練が実施できる。	非常災害担当で集まり、昨年話し合った内容を再検討し文書化。その行動計画に基づいて、訓練を実施する。	6ヶ月
5	45	入浴拒否のある方については、あの手この手の方法を取り入れ奮闘しているが、時により入浴まで結びつかないことがある。	入浴拒否のある方の入浴介助がスムーズに行えるようになる。	入浴時に協力いただいているPTの方に意見を聞いたり、他事業所の取り組みも参考にして、毎月のユニット会議・全体会議の議題に挙げていく。	8ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。